



山崎市長はじめ佐藤・前印旛村長、五十嵐・前本埜村長ら関係者がテープカットを行い、新たな市の誕生を祝った＝23日午前8時25分ごろ、印西市役所正面玄関前

新「印西市」誕生

印西市に印旛村、本埜村を編入した新「印西市」が23日、誕生した。県内市町村の合併は香取市などが誕

生した2006年以來。新市の人口は8万8680人（男4万4076人、女4万4604人。3月1日現在）となり、君津市や四街道市と同規模となる。面積は124平方*。

（関連記事15面）

佐藤前印旛村長(左端)と五十嵐前本埜村長(右端)から事務引き継ぎを受けた山崎市長=23日午前8時35分ごろ、印西市役所



新「印西市」が誕生

白井市の協議離脱、本埜村長のリコール(解職請求)問題など複雑な経過を経て23日、印西市、印旛村、本埜村が合併した。午前8時20分から印西市役所正面玄関前で行われた本庁舎開所式で山崎山洋印西市長は

「これまでさまざまな困難があった。誰もが住んで良かったと思える新生印西市に向け、住民福祉の向上に全力で取り組むたい」と決意。佐藤榮一前印旛村長、五十嵐勇前本埜村長はじめ関係者8人でテープカットを行い、北総の中核都市の誕生を祝った。

「住民福祉の向上に全力」



本庁舎開所式であいさつする山崎市長=23日午前8時20分ごろ、印西市役所

「北総の中核都市」へ

式典で山崎市長は、協議を振り返りながら感謝したい」と述べた。2008(平成15)年「本日合併の日を迎え、上で「今年には成田新高から始まった白井市をられたことは誠に喜ば速鉄道の開業、県立印舎むら市2村の合併協し、これまで尽力い旗明誠高校の開校、国議、昨年1月から行わだいたすべての人に体と、地域にとつて歴市が順調に進んでいれた1市2村での合併 敬意を表するとともに 史的な年となる。本日くことを願う」。五十嵐前本埜村長は「北総の中核都市として名実ともに立派な市になれるよう、特別顧問として非力ながら力添えをしたい」などと話した。

から新たな印西市としての歴史が始まる」と、力強く語った。その後は市長応接室に移動し、岡村長から山崎市長への事務引き継ぎを行ったほか、両村長を新市の特別顧問に委嘱した。任期は来年3月31日まで。佐藤前印旛村長は、

「いろいろと難渋したが、めでたく合併が整い安堵(あんど)している。これから新しい市が順調に進んでいくことを願う」。五十嵐前本埜村長は「北総の中核都市として名実ともに立派な市になれるよう、特別顧問として非力ながら力添えをしたい」などと話した。

一方、前日まで村民に親しまれてきた岡村役場は印旛支所、本埜支所へと変わり、この日は開所式が行われ、各支所長、職員らが支所表示板の除幕を行った。

【合併協議の経過】

- 2009年1月9日 印西市・印旛村・本埜村合併協議会を設置
- 2月19日 第1回合併協議会を開催、合併協定項目の協議を開始
- 7月15日 第10回合併協議会を開催、合併協定項目の協議を終了
- 9月29日 印西市議会で廃置分合議案可決
- 9月30日 印旛・本埜両村議会で廃置分合議案可決
- 2010年1月12日 県知事への廃置分合申請
- 2月19日 県議会で1市2村の廃置分合議案可決
- 2月22日 県知事の廃置分合の決定、総務大臣への届出
- 3月5日 総務大臣の廃置分合の官報告示
- 3月23日 新「印西市」が誕生

参考文献

「Q & A 市町村合併ハンドブック」 市町村自治研究会編 ぎょうせい

「千葉県町村合併史」 千葉県編 葵書房

「市町村資料集」 千葉県

「広域行政推進基礎調査報告書」 千葉県広域行政研究会